



2009年5月29日
NPO 法人 エガリテ大手前

第4回 次世代育成環境ランキング (2008年度)

(主要51都市、東京23区)

1. 本調査について

- 1) 内容: 各種統計データなどを独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的: 自治体間の次世代育成環境(出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など)、行政の姿勢に違いが見られる。次世代育成支援対策推進法によって提出が義務付けられた「行動計画」(自治体、従業員301名以上の事業主による)についても取り組みに差があると思われる。市民による健全な監視役として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けとなるとともに、一般市民の意識向上に寄与したいと考えたもの。
- 3) 今後の予定: 年一回(春頃)作成する。

2. 当法人について

- 1) 名称: 特定非営利活動法人(NPO)エガリテ大手前
- 2) 設立: 2004年4月(NPO認証:2005年10月)
- 3) 趣旨: 少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。ついては、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人(NPO)とするものである。
- 4) メンバー: 主婦やサラリーマンを中心に、弁護士、大学教員、公認会計士、医師、薬剤師、税理士、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、研究所調査員、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリスト、中小企業診断士、衛生管理士、福祉サービス第三者評価調査者、フードアナリスト、宅地建物取扱主任など幅広い層からの参加を得ている。
- 5) 問合せ先: furukubo1978@mercury.ne.jp

3. 調査対象: 東京23区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計51都市

4. 調査結果

1) 「次世代育成環境ランキング」2008年度

	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療		ハート ウェア	ソフト ウェア	総合
千代田区	1	1	15	1	13	5		1	3	1
中央区	4	18	15	15	4	6		7	9	6
港区	5	23	15	3	2	23		18	15	17
新宿区	8	5	5	19	8	20		9	21	14
文京区	9	16	15	7	7	22		15	16	18
台東区	15	12	15	4	20	1		4	2	4
墨田区	16	11	15	21	14	13		13	22	19
江東区	23	22	14	22	15	18		20	23	23
品川区	6	13	8	18	1	9		6	12	5
目黒区	2	17	11	13	11	19		19	10	13
大田区	19	15	9	10	17	7		17	5	9
世田谷区	14	19	10	16	12	3		16	4	10
渋谷区	12	4	1	5	18	15		8	7	8
中野区	7	21	12	11	3	10		5	14	7
杉並区	11	8	2	9	10	2		3	1	3
豊島区	3	7	15	20	5	21		14	17	16
北区	10	2	3	2	16	4		2	6	2
荒川区	13	10	15	23	6	16		21	20	22
板橋区	18	9	4	17	9	12		12	11	11
練馬区	22	14	13	14	21	11		22	13	21
足立区	21	6	7	6	23	14		11	19	15
葛飾区	17	3	6	8	19	17		10	18	12
江戸川区	20	20	15	12	22	8		23	8	20

	出産 環境	乳幼児 保育	児童 福祉	児童 養護	児童 保育	母子 福祉	小児 医療	ハート ウェア	ソフト ウェア	総合
札幌市	34	46	35	14	43	7	49	30	50	46
仙台市	42	48	34	24	28	31	37	42	39	43
さいたま市	43	37	48	34	48	42	13	48	29	45
千葉市	47	44	44	42	25	34	44	51	33	49
横浜市	41	33	45	40	49	34	50	49	49	51
川崎市	38	51	47	44	3	18	39	44	18	35
静岡市	13	32	25	25	34	39	46	33	43	36
名古屋市	30	27	24	17	27	37	51	38	30	38
京都市	4	22	10	5	33	13	48	8	48	27
大阪市	11	30	17	13	2	11	47	19	16	19
堺市	24	45	41	15	32	48	14	39	23	33
神戸市	12	34	23	10	12	6	23	18	14	16
広島市	15	13	22	10	14	19	30	21	12	14
北九州市	1	10	18	3	30	12	2	2	11	4
福岡市	6	20	33	21	37	14	35	34	17	28
旭川市	10	38	21	2	17	17	22	17	26	22

函館市	22	5	12	50	45	2	4	1	40	15
秋田市	3	11	28	29	39	16	9	13	25	20
郡山市	48	35	50	46	46	8	20	32	45	42
いわき市	26	16	32	33	40	49	23	27	44	31
宇都宮市	26	19	40	43	16	32	28	43	4	25
川越市	51	50	49	47	36	32	25	45	46	50
船橋市	49	43	43	49	31	39	32	47	35	48
横須賀市	32	40	51	45	35	24	26	40	27	40
相模原市	40	47	42	38	15	49	41	50	20	41
新潟市	35	7	8	48	21	27	41	28	28	26
富山市	20	9	6	39	10	38	17	14	13	8
金沢市	39	4	1	18	4	28	36	12	9	5
長野市	19	17	9	26	1	3	3	3	5	3
岐阜市	17	23	39	27	19	4	7	7	15	13
浜松市	23	42	46	36	42	47	45	46	36	47
豊橋市	8	26	15	19	24	25	16	26	21	18
豊田市	50	36	31	35	23	36	26	41	31	34
岡崎市	46	39	26	37	51	10	29	29	51	39
高槻市	36	49	37	9	50	49	8	35	41	44
東大阪市	31	41	36	7	26	45	31	36	24	32
姫路市	45	28	19	32	38	45	33	37	42	37
奈良市	14	31	27	8	47	20	11	22	37	30
和歌山市	25	24	16	4	13	29	19	4	32	17
岡山市	28	15	3	1	29	44	40	10	47	24
倉敷市	37	14	14	41	20	42	1	31	6	12
福山市	44	3	4	22	6	23	34	23	10	7
下関市	2	6	13	50	11	30	18	16	7	10
高松市	17	2	7	31	5	9	15	5	2	2
松山市	29	25	38	16	44	15	10	24	34	29
高知市	16	29	5	30	7	21	12	9	22	11
長崎市	9	8	11	20	8	41	20	15	8	6
熊本市	5	21	20	23	41	1	43	11	38	23
大分市	7	12	29	28	18	22	4	25	3	9
宮崎市	33	1	2	10	9	26	6	6	1	1
鹿児島市	21	18	30	6	22	5	38	20	19	21

2) 東京 23 区

- ① 出産環境：千代田、目黒、豊島が優れる。渋谷は妊娠中の経済負担の助成「ハッピーマザー助成」。中央は通院3万円タクシー券や新生児誕生祝(共通買物券)を実施。江東は出産里帰り妊婦に里帰り先での妊婦健診費を一部助成。
- ② 保育環境：千代田、北、葛飾が優れる。対象人口当りの保育所数・定員数などは北、豊島、北が充実。対象人口当りの待機児童数は千代田、葛飾、渋谷が少ない。千代田は待機児童ゼロ(幼稚園も含め)を維持。葛飾は生後4ヶ月までの全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)。北は育児不安・孤立感解消のため満2歳の記念品を児童館で贈呈。練馬は私立保育所・認証保育所の空き定員を利用した一時保育。

- ③ 児童福祉： 対象人口当りの児童福祉施設数は渋谷、杉並、北の順で充実。
- ④ 幼児保育： 千代田、北、港が優れる。対象人口当りの幼稚園数・学級数・在園数は千代田、台東、港が充実。対象人口当りの三歳児在園数は千代田、北、足立が充実。
- ⑤ 児童保育： 品川、港、中野が優れる。対象人口当りの学童クラブ施設数・定員数・登録数は品川、北が充実。遊び指導員は千代田、杉並、中野が充実。港は小中学校に「リーディングアドバイザースタッフ」を増員。新宿は外国人児童の日本語サポート指導。目黒は不登校児童・生徒への適応指導教室。中野は小学校PTA連合会が運営する「こども110番」への助成。文京は「遊び方プランナー」を育成。
- ⑥ 小児医療： 台東、杉並、世田谷が優れる。千代田、中央、台東は対象人口当りの小児夜間救急施設が充実。足立は中学生以下が対象の「平日夜間小児初期救急診療」。
- ⑦ ハードウェア： 対象人口当りの施設数などのハードウェアは、千代田、北、杉並が優れる。世田谷は大型施設「子育てステーション」(民間委託型)。中央は民間保育事業者向け助成事業(賃料補助)、認証保育所料金補助(1万円/月)、公設民営型保育園。練馬は「安心・安全パトロールカー」を増やし夜間巡回を強化。
- ⑧ ソフトウェア： 開業時間、料金、助成などのソフトウェアでは、杉並、台東、千代田が優れる。千代田は従業員300人以下の事業主にも雇用環境整備のため、行動計画の策定支援に20万円/件の奨励金を交付。墨田は親の育児不安や悩みへのアドバイスを行う「子育てサポーター」、空店舗を活用した子育て活動「こどもサロン」。江東は第二子以降に区内共通商品券を支給し家庭の経済負担軽減と区内商店街の活性化を図り、小中学校の入学式で隔週目標を明記した「マナビフェスト」を配布。
- ⑨ 総合： ハードウェア、ソフトウェアの両面で対象人口との負の相関傾向が見られるため、出生指数を加味した総合評価では、千代田、北、杉並、北が優れる。本調査の結果から、優れた子育て環境を実現している千代田に「優秀環境賞」を贈ることとした。

3) 主要 51 都市

- ① 出産環境： 北九州、下関、秋田が優れる。対象人口当りの病院診療所数・病床数は長崎、函館、下関が充実。対象人口当りの乳児・新生児・周産期死亡は豊橋、広島、秋田が低い。対象人口当りの妊産婦・乳幼児保健指導件数は名古屋、相模原、高槻が多い。宇都宮は妊産婦・乳幼児全戸訪問指導「こんにちは赤ちゃん」。富山は不妊治療費助成事業で成果。
- ② 乳幼児保育： 宮崎、高松、福山が優れる。対象人口当りの保育所の施設数・従業員数・定員などは高知、福山、新潟が充実。延長保育・休日保育では宮崎、金沢、富山が優れる。対象人口当りの 0~2 歳児保育在所数・乳児保育所数は宮崎、金沢、高松が充実。待機児童ゼロは北九州、函館、郡山、いわき、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、豊橋、岡崎、和歌山、岡山、福山、高松、宮崎。姫路は複数年受入れ幼稚園を拡充。横浜は外国人児童保育。函館は事業所内保育や沿岸・山間部の季節保育。豊橋は保育所での高齢者と子どもの世代間交流。
- ③ 児童福祉： 金沢、宮崎、岡山が優れる。対象人口当りの児童福祉施設数・従業員数・定員数などは宮崎、高知、金沢が充実。対象人口当りの児童デイサービス・児童短期入所施設数・従業員数・定員数などは岡山、鹿児島、高槻が充実。
- ④ 児童養護： 岡山、旭川、北九州の順に優れ、対象人口当りの児童養護施設数・従業員数・

定員などが充実。

- ⑤ 児童保育：長野、大阪、川崎が優れる。対象人口当りの児童館・児童センターの施設数・従業員数などは長野、広島、函館が充実。対象人口当りの学童クラブ数は大阪、福山、高松が充実。鹿児島は小中学校での特別支援学校との交流教育。名古屋は 30 人学級を全校小学 1、2 年で実施。
- ⑥ 母子福祉：熊本、函館、長野で優れる。対象人口当りの母子生活支援施設などの施設数・従業員数・定員数などは秋田、函館、旭川が充実。
- ⑦ 小児医療：倉敷、北九州、長野が優れる。対象人口当りの小児夜間救急施設数や開所時間などは倉敷、北九州、長野が充実。小児夜間救急施設の HP 案内は福岡が優れる。岐阜はコレステロール・中性脂肪・尿酸で要注意・管理に該当する児童比率を数値目標管理。宮崎は小児救急医療電話相談(土日祝正月の夜間)。旭川は不妊相談の強化。
- ⑧ ハードウェア：対象人口当りの施設数などのハードウェアは、函館、北九州、長野が優れる。金沢は妊産婦や保護者の教育相談や育児講座の拠点「子育て夢ステーション」を小学校区に複数設置。広島は子育てに関する相談窓口を充実。大分は子どもと保護者が一緒に土日に遊べる「こどもルーム」を設置。
- ⑨ ソフトウェア：開業時間、料金、助成などのソフトウェアでは、宮崎、高松、大分が優れる。高松は不用な子供用品の譲り合いを支援する「Reチャイクル」を実施。福山は女性のチャレンジ支援事業。仙台は気楽に参加できる防犯パトロール「歩くボランティア」を実施。
- ⑩ 総合：ハードウェア、ソフトウェアの両面で対象人口との負の相関傾向が見られるため、出生指数を加味した総合評価では、大分、宮崎、富山の順に優れる。本調査の結果から、子育て環境の改善に成果を上げている高松に「優秀環境賞」を贈ることとした。

以上